

仕様書

ロボット・AI部

1. 件名

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術／分野間データ連携基盤技術に関する国際動向調査

2. 目的

Society5.0を具現化するためにはサイバー空間とフィジカル空間とが相互に連携したシステム作りが不可欠であり、未だ様々な開発要素・課題がある。「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」（以下「本プロジェクト」という。）では、「サイバー空間基盤技術」の中で特に、人とAIの協働に資する高度に洗練された「ヒューマン・インタラクション基盤技術」、「分野間データ連携基盤技術」等を確立し、ビッグデータ・AIを活用したサイバー・フィジカル・システムの社会実装を目指している。

本調査は、本プロジェクトのうち「分野間データ連携基盤技術」を対象とする。「分野間データ連携基盤技術」では、国、地方公共団体、民間などで散在するデータ基盤を連携させ、ビッグデータとして扱い、分野・組織を越えたデータ活用とサービス提供を可能とするため、関係府省庁で整備が進められている分野ごとのデータ連携基盤やその他の様々なデータ基盤を相互に連携させる分野間データ連携基盤技術（コネクタ）を用いた分散型分野間データ連携の実現を目指している。

本調査では、本プロジェクトの分野間データ連携基盤が、海外のデータ基盤と連携を行うために必要な条件等を整理すること、また、研究開発内容を含む活動内容に係る妥当性について分析することを目的とする。

3. 内容

（1）データ連携に関連する海外の活動団体に係る一次調査

データ連携に関連する活動を実施している海外の主要な団体を抽出すること。特に政府主導であるなど政策に紐付いて推進している団体については網羅的に抽出すること。抽出した団体については、組織としての目的、主な実施者、対象としているデータ、開示しているドキュメント、活動内容、他機関との連携状況等について、Web・文献等から調査・整理すること。なお、団体が所属している国・地域について、文化や法制度等の背景となる事項として特記すべきことがあれば、併せて整理すること。

（2）データ連携に関連する海外の活動団体に係る深掘調査

（1）で抽出・整理した団体について、データ連携に関する具体的な取組内容、デー

タ連携への影響力の大きさ、関連する政策の重要性等から総合的に判断し、深掘調査すべき団体を選定すること。選定した団体あるいは当該団体に係る有識者へのヒアリング調査等を実施し、(1)で整理した内容の詳細化、当該団体とデータ連携するための条件等の整理を行うこと。

(3) 調査結果の分析と取りまとめ

本プロジェクトで推進しているデータ連携の取組と(1)(2)で整理した団体の取組を比較し、本プロジェクトの研究開発内容を含む活動内容の妥当性について分析すること。また、(1)(2)で整理した団体とデータ連携を行うために、本プロジェクトとして更に推進すべきこと、研究開発すべきことなどの活動案を取りまとめること。

(4) 進捗報告会の実施

(1)(2)(3)に係る進捗報告を、本プロジェクトのプログラムディレクター、サブプログラムディレクター、イノベーション戦略コーディネーター、内閣府、NEDO等に対して月1回程度実施すること。

また、NEDOへの進捗報告は上記を含め、2週間に1回程度実施すること。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2021年12月28日まで

5. 予算額

2,000万円以内

6. 報告書

提出期限：2021年12月28日

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中及び委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上